

先月、大根の漬物を頂いた。おぼろげで懐かしい味である。酸っぱい味覚で、現代の若い人には、到底受けいられる代物でないと思う。が、美味しい、癖になりそう、珍味という言葉では表現出来ない味覚である。現代社会の食生活から排除されるべき物の候補にあがつてもおかしくないかも知れない。

ただし、私には、美味しく、ご飯をお代わりしたくなる漬物である。もちろん、今風の漬物も実に美味しく戴いている。

昔ながらの漬物をなぜ、食べるの？。「美味しい」という表現は適切でないかも知れません。

昔に食べ続けていた味が、いつの間にか、美味しいと思うようになった？。

長年食べ続けていた味が身体に馴染んで、沁みついて美味しく思えるようになるのかもしれません。

一口食べただけで身体が無条件に美味しいと感じさせるのでしょうか？中毒？

頂いたいた漬物から、1ヶ月以上が経過して、あらためてキーボードを叩いているのですが、気まぐれです。突如、話題は進路変更です。

人が裏切られる事ってど

られるのが、金錢がらみ

その事で人生を悲劇に

りするので、その手

で、料理に例えると

っていますので、さら

頭で描いて希望像が、現実

年間待ち望んでいた野のが目の

んな事が判るでしょうか？裏切
とか女性がらみは世の常で、
したり、感動、幸福にした
の裏切りはありきたり
、隠し味みたいな物と思
りとながせますが、自分
に実像としてあらわれた時、70
前に現れた。世の中、捨てたもんじ

やない、素晴らしい、お手本にしようと思っている矢先に、それが崩れ去る時の光景を想像してみてください。もちろん、勝手に偶像を作り上げていた私自身の甘さはあるにしろ、金錢がらみ、女性がらみとは異なった、裏切られた感は、空しいというか、悔しいというか、責任取ってもらいたい気分です。

歴史上の人物を自分なりに偶像化、理想化するの良くあることです。現実に、目の前に血の通った人物が現れ、すごい、人生感が、2段階、3段階ギアーチェンジ出来るとリスペクトしていたにも拘わらず、無残にも打ち砕かれた気持ちは、人間失格ですよ。お金に騙されるのは、騙される者が悪い。女性に騙されるのは、騙される男が悪い、相手を見る目がなかったからだと。悔しさはありますが、諦めもつきます。

しかし、リスペクトしていた人物の裏切り行為は、許しがたいです（ひょっとすると騙された男と同じ次元かも知れませんが）。人（魂）を弄んでいます。語弊をまねきかねますが、お金を弄ぶ、男を弄ぶも、女を弄ぶ（法的、犯罪、生命危機以外）。ことは多目にみても、人（魂）を弄ぶのは絶対によくない。弄ばれた人は、悲しみに満ちた海底に沈んで行きます。ウルトラマン・スーパーマンを信じていた幼子に、あれは。嘘だよ。と言っているような物です。

そう云うと、長男が中学3年生の時に、信じ切っていたのでしょうか？真剣にサンタクロースに、高価な品物を要求してきたので、思わず「いい加減にしておけ」と語彙を荒げた事を思い出しました、天罰かな？。長男には悪いことしたと思ってます、後の祭りです。あの時、真剣に対峙していたら、ひつよつとして、今、現実は異なっていたかも知れません。空しい気持ちにならなかったかもしれません。悔やんでも、悔やみきれない、苦い思い出です。

私が人間失格かな？



なんとめでたいご臨終 小笠原文雄(ぶんゆう) 小学館

タイトルのごとくである。説明も、解釈も必要ないです。読みたい人は読んでください。実感として捉えて下さい。

生き方を変えようと思っている人読んで下さい。生き方を変えようと思っても、そう簡単に変えられません。

生き方（人生観）を変えようと思えば、先ず物の見方、考え方を変えないと、絶対に変わりません。

この本読むと、ひょっとして、生き方変わるかもしれません。